

絹笠山・白雲の池の 散策ガイド

雲仙あちこちガイドシリーズ②



●コゲラ

自然保護憲章

自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう！
自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしましょう！
美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう！

監修・発行／雲仙お山の情報館運営協議会
〒854-0621 長崎県南高来郡小浜町雲仙320 ☎(0957)73-3636
<http://www.dango.ne.jp/unzenvc> FAX(0957)73-2136

絹笠山・原生沼の 自然ガイド

雲仙あちこちガイドシリーズ②

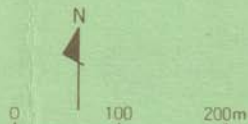


●カキツバタ

自然公園でのルール

- ① 植物や動物、鳥、昆虫などとはらずに観察する。
- ② 歩道、広場など定められた場所以外に入らない。
- ③ 大声をあげたり、ラジオなどを鳴らしながら歩かない。
- ④ 自然の美しさを保つため、ゴミは必ず持ち帰る。

* 絹笠山・白雲池散策案内図 *

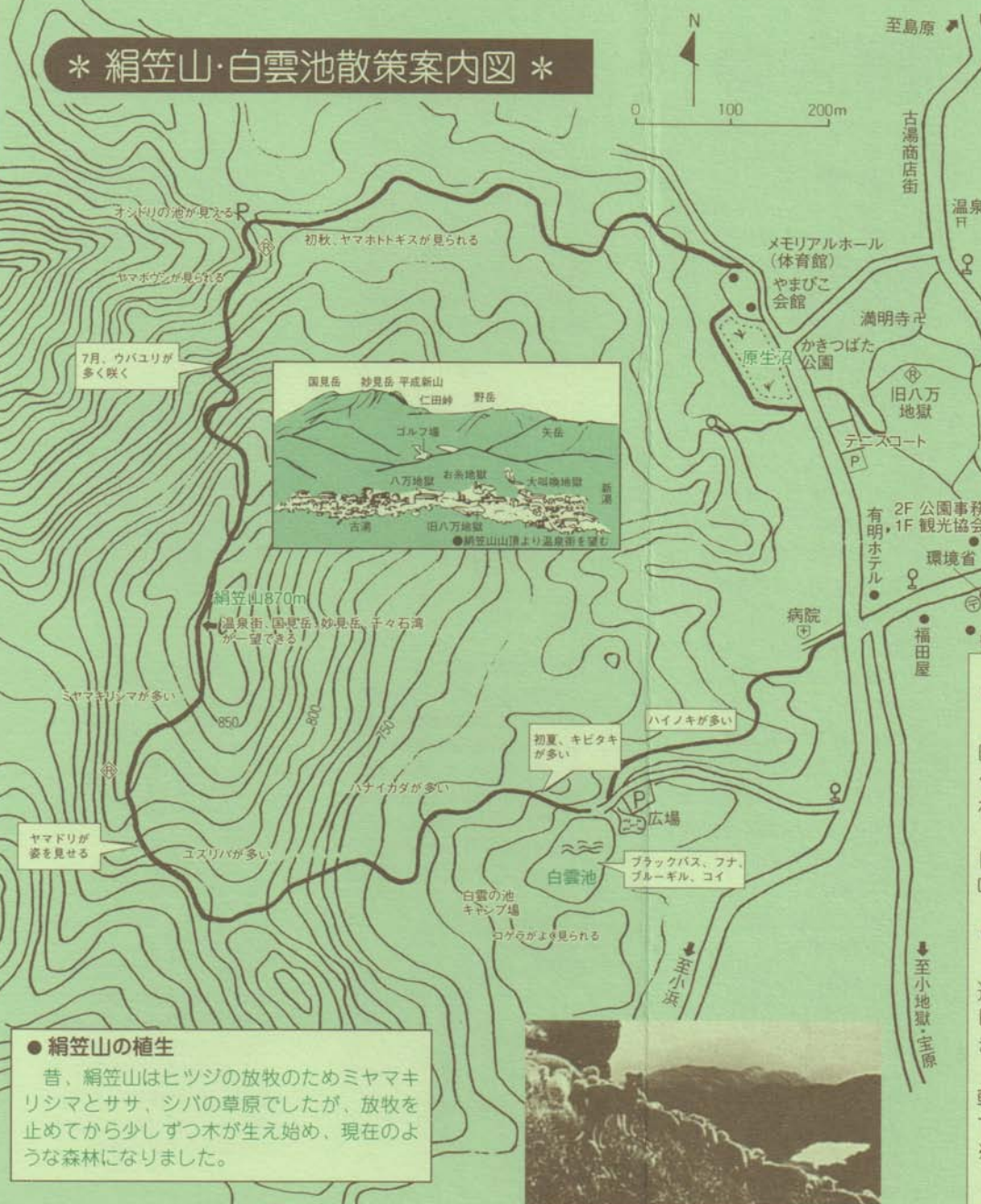


凡例

⊕ 休憩所 P 駐車場
 □ バス停

コース・タイム

情報館	10	原生沼	45	絹笠山
絹笠山	10	白雲池	30	情報館
絹笠山	30	白雲池	15	情報館
白雲池	40	情報館	15	絹笠山



- 富貴屋
- 清七地獄
- 九州ホテル
- 雲仙お山の情報館
- 雲仙お山の情報館 別館
- 新湯ホテル
- パークサービスセンター
- 福田屋
- 観光ホテル

きぬがさやま
 ● **絹笠山(標高870m)**
 絹笠山は雲仙温泉街に近く、四方の眺望がすばらしいため古くから散策コースとして親しまれています。
 昔、外国人は山頂からみる落日を讃えて「サンセットヒル」と呼んでいました。

● **白雲池**
 白雲池は面積1ha程の古い人造池で、池の周りでキャンプ、ピクニックを楽しむことができます。
 また、植物や野鳥も豊富で手軽な自然観察の場として最適です。
 ※植物・昆虫の採集、野鳥等の捕獲は、禁止です。

● **絹笠山の植生**
 昔、絹笠山はヒツジの放牧のためミヤマキリシマとササ、シバの草原でしたが、放牧を止めてから少しずつ木が生え始め、現在のような森林になりました。



* 白雲池周辺で見られる野鳥 *

■ヤマガラ

頭と喉が黒く、頬のクリーム色と腹面の栗色がめだつ鳥です。大きさはスズメぐらいで体に比べ頭が大きく見えます。活動的で枝から枝へよく動き回り、人を余り恐れません。ツーツーピー、ツーツーピーとのんびりくり返しさえずります。



■キビタキ

夏鳥として雲仙の森林にやってくる鳥でスズメよりやや小型です。雄は喉から胸にかけての美しい黄色と背面の黒が特徴ですが、雌は地味な色をしています。口笛のような音質で複雑な歌を明るくさえずります。



■メジロ

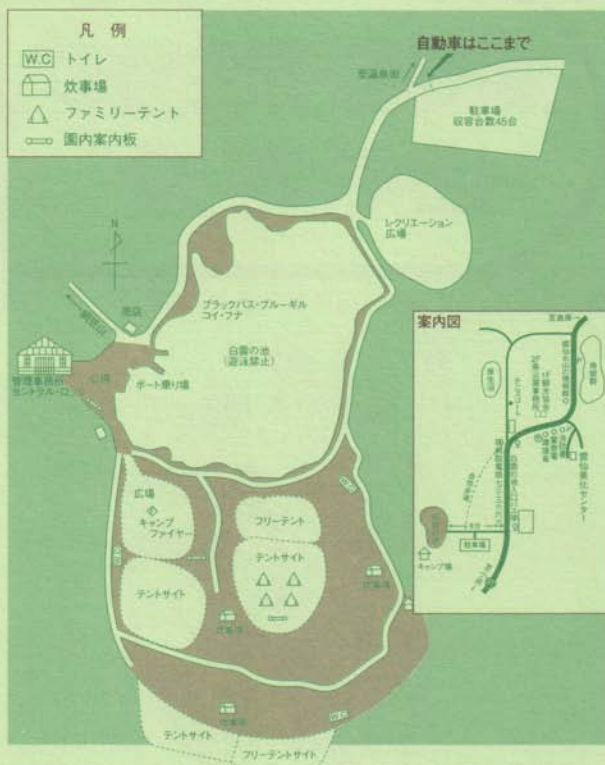
スズメよりずっと小型で眼のまわりによくめだつ白い輪があります。頭から背は暗緑色で腹面は灰色です。果実や花の蜜などを好み、枝の間に身を軽にわたりながら「長兵衛忠兵衛長忠兵衛」と聞こえる大きな声でさえずります。



●コゲラ(表紙)

キツツキの仲間では最も小型でスズメほどの大きさです。全体にこげ茶と白のまだら模様で、木に縦にとまり、丈夫なくちばしで幹や枝をつつき虫などを捕えます。ギーッときるように鳴き、雲仙では広い地域で見られます。

* 白雲池キャンプ場案内 *



★キャンプ場利用案内 ※開設期間 4～10月

利用施設 ファミリーテント(6人)…… 4基
貸テント(5人) …………… 15張
貸毛布 …………… 200枚

付帯施設 炊事棟3棟、トイレ3棟

※問い合わせ先 財団法人 自然公園財団雲仙支部
TEL 0957-73-2543

このキャンプ場での収益は、自然公園の美化清掃や、公園施設の管理などに使われます。

財団法人 自然公園財団

* 原生沼・湿原の植物 *

雲仙温泉街の西側に位置する原生沼は国指定の天然記念物で、九州には稀なミズゴケ湿原です。面積は約1ha。昔は池だったらしく池は500年位前から盛んに堆積し始めたことが花粉分析の結果から分かりました。

沼には5月一斉に開花するカキツバタのほか、ヨシ、モウセンゴケ、ヤマドリゼンマイなどの湿原植物やミヤマキリシマ、レンゲツツジが見られますが、散歩歩道ぞいには土砂の流入などでゆっくりと乾燥しています。沼野植物が繁茂し始めたのは約1000年前といわれています。

原生沼の植生

【凡例】

(1) シカクイ群落 (1)

(2) ハリミズゴケ群落

a) 典型群

ハリミズゴケ先駆相 (2a1)

シカクイ小群

典型変小群 (2a2)

ススキ変小群 (2a3)

ヨシ小群 (2a4)

b) イスノハナヒゲ群

オキナフホシクサ小群 (2b1)

ヨシ小群 (2b2)

c) ヒメゴウン群

ヨシ小群 (3c1)

ヒゲアブラガヤ小群 (3c2)

カサケ群 (3b)

(3) オオミズゴケ群落

a) カサケ群

典型小群 (3a1)

ヒメゴウン小群 (3a2)

b) ヒメゴウン群

典型小群 (3b2)

ヒメミズゴケ小群 (3b1)

c) ミヤマキリシマ群

ヒメゴウン小群 (3c1)

クラビ小群 (3c2)

(4) ウンゼンザサ群落 (4)

森林部分

ススキ群

その他

(5) 停水部および水路

スレレン群生地

アカマツ植栽

Cスキ植栽

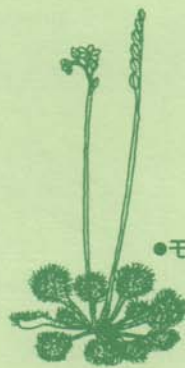
イヌツゲ群落

イタドリ群落

オオアレチノギク群落



●レンゲツツジ



●モウセンゴケ

●モウセンゴケ

日の当たる湿地にはえる食虫植物でコケではありません。しゃもじ型をした葉に分泌液を出す淡紅色の腺毛が多数あり、小さな虫がこれに触れると粘着して動けなくなり、とがされてしまいます。

●レンゲツツジ

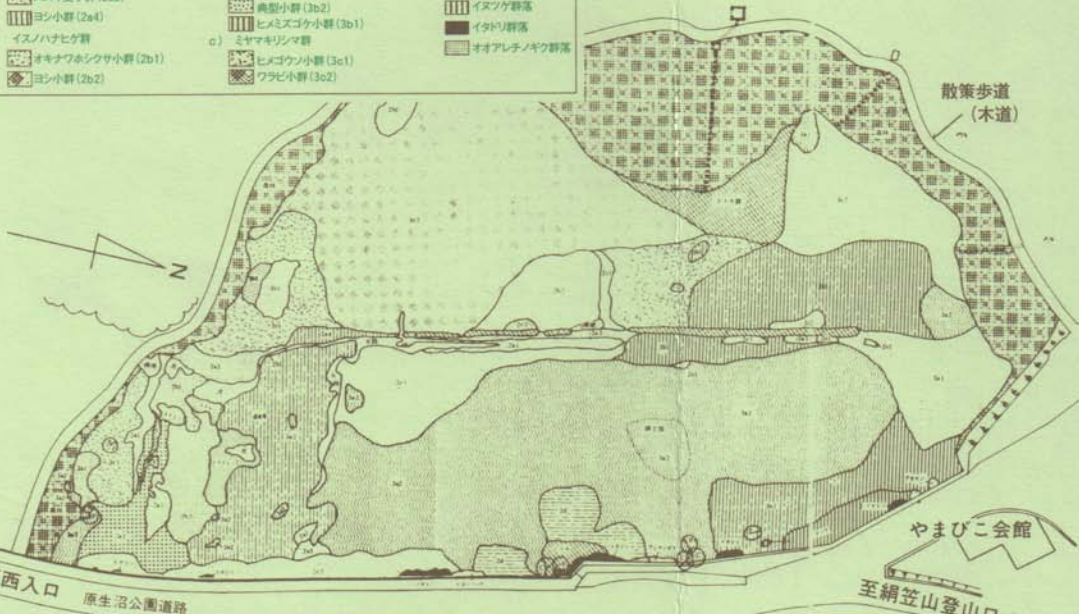
雲仙では原生沼のみに自生するツツジで、また、ここは分布の西限に当たります。5月、葉が開くのに先立ってオレンジ色の花を咲かせます。この仲間で花の黄色のものをキレンゲツツジといいます。

●カキツバタ(表紙)

湿地に群生するアヤメに似た植物です。5月下旬紫色や白色の花を咲かせ原生沼を彩ります。アヤメに比べ葉のやや広いこと、花びら(外花被片)の中央に「鏡の目」が見られないことで区別できます。

同じ沼の中でも立地条件(特に湿性度)に対応して生育する植物が異なり、乾燥化した部分にはウンゼンザサ群落が、湿性度の高い部分にはシカクイ群落が見られます。

(湿性=) 停水部>シカクイ群落>ハリミズゴケ群落>オオミズゴケ群落>ウンゼンザサ群落(=乾性)



※柵内立ち入り禁止

至古湯

波田善夫・川里弘孝(1980)
Yoshio Hada and Hiroataka Kawasato

* 絹笠山・白雲池の植物 *

■ヤマボウシ

初夏、絹笠山をはじめ雲仙の山々はこの木の白い「花」におおわれますが、花弁に見えるのは4枚の総包片で中心部に密集した淡緑色の粒がひとつひとつの花なのです。総包片が淡紅色のものもみられます。



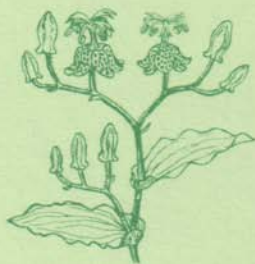
■ホタルブクロ

日当たりのよい山野に生えるキキョウの仲間の多年草です。草の高さは40～80cm。初夏、やや長いつり鐘状の花を開きますが、雲仙ではほとんどが白花です。昔、子供達はこの花の中にホタルを入れて遊びました。



■ヤマホトトギス

初秋、白に紫色の点のある変った形の花を付ける多年草です。葉の付け根などから柄を出し、その先に花を数個付ける点が普通のホトトギスと異なります。濃緑色の葉に油滴状の斑点があるのですぐ分ります。



■ウバユリ

初夏、林の中に高さ50～60cmにラッパ状の緑がかった白い花をつけます。名前の由来は、花の咲く頃は、いつも葉が枯れて、女兒の世話する女が娘の成人する頃には、うば(姥)になっている事からだそうです。



* 白雲池周辺の木の実 *

■ムラサキシキブ

美しい紫色をしたやや小粒の実を付ける落葉低木です。この木は初夏淡紫色の花を咲かせますが、花よりも実の方がはるかにめだちます。同じ仲間ではやはり紫色の実を付けるヤブムラサキも見られます。



■ゴンズイ

この木の果実は赤く半月形をしています。熟すと一方から開裂して鮮紅色の内面と黒い種子を見せます。

林内に生える落葉高木で枝は太く黒紫色を帯びており、葉は羽状複葉で、つややかな濃い緑をしています。



■ハナイカダ

葉の中央に黒い球形の実を付ける落葉低木です。この木には雄株と雌株がありともに初夏、葉の中央に緑白色の花を咲かせますが、実のなるのは雌株だけです。和名は葉を筏に、黒い実を人にとえたものです。



■ツルリンドウ

細長いつる状の茎を地表にはわせたり、他の植物にからませたりするリンドウの仲間の多年草です。夏から初秋にかけて淡紫色の筒状の花を咲かせます。秋、紅紫色をした円形の実をいくつもつけます。

